

2019年3月22日
関西ペイント株式会社
関西ペイント販売株式会社

次世代耐火被覆材「耐火テクト」市場展開開始

関西ペイント株式会社（本社：大阪市、石野 博 社長 CEO）ならびに関西ペイント販売株式会社（本社：東京都、毛利 訓士 社長）は、このたび次世代耐火被覆材「耐火テクト」を開発、今春より本格的に市場展開いたしますのでお知らせいたします。

耐火テクト

耐火被覆材は、火災発生時、大型建築物の鉄骨の柱や梁などの構造物を火災の熱から守り、建物の崩落を防ぐとともに、人々が避難する時間をより長く確保する重要な役割を担っています。

近年、大型建築構造物の需要の増大に従い、耐火被覆材の適用範囲も広がってきています。

「耐火テクト」は、最新の性能評価方法による国土交通省の耐火認定を1時間、2時間の各鋼材サイズにて既に取得済で、耐火被覆材に求められる性能に加え、優れた $+\alpha$ の機能を持つ塗料タイプの次世代耐火被覆材です。

□「耐火テクト」の特長

1. 空間創造が広がります！

「耐火テクト」の厚みは2~3mmと、現在主流のロックウール系耐火被覆材（厚み40~50mm）の約1/20のため、天井の高さを上げて屋内空間を広げることが可能となります。

又鉄骨そのものを魅せる空間にする場合は、空間にマッチしたカラーの塗料を塗ることでデザイン性の高い設計が可能となります。

2. 屋外にも適用可能です！

「耐火テクト」は、2液反応型の塗料タイプのため塗膜は強靱で耐水性が高く、優れた屋外耐久性を持ち、屋外に設置された鉄骨柱にも適用可能です。

3. 大幅な工期短縮になります！

2液の速乾型反応塗料のため一度に厚膜塗装が可能であり、施工期間は約5日と一般耐火塗料の施工期間（約14日）・ロックウール系耐火被覆材（約7日）に比べ大幅な工期短縮が可能となります。

*「耐火テクト」イメージムービー : URL https://youtu.be/4bR_J9wbHJ4



- 発売開始 2019年4月1日
- 目標販売額 2021年に30億円 / 年
- 設計価格（膜厚1mmあたり） 10,000円 / m² （300m²以上の場合）
- 施工管理体制

「耐火テクト」は、耐火テクト認定施工店による関西ペイントの責任管理施工を行います。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

関西ペイント販売株式会社 防食塗料販売本部 開発営業部 岡本 昌彦

TEL : 03-5711-8904 FAX : 03-5711-8934

耐火被覆材料（上塗：ふっ素樹脂塗料仕上げ）

（新設）

1. 適用箇所 耐火被覆部位（内外面：柱・梁）
2. 塗装仕様

施工場所	塗装工程	塗料名	塗回数	塗装方法	塗付量 g/m ² /回	塗装間隔 (20℃)		標準膜厚 μm/回	シンナー名 希釈率 (重量比)
						Min	Max		
工場	素地調整	プラスト処理により ISO Sa-2.5 (1種ケレン相当) までケレン処理する。							
	プライマー	SDジンク500 (有機ジンクリッチペイント)	1	AL	280	1D	6M	30	SDジンクシンナー 0~10%
	下塗	エスコNBマイルドK (弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料)	1	AL	190	8H	30D	40	塗料用シンナーA 0~5%
現地	補修塗	現場搬入後、発錆部や、塗膜損傷部、接合部などは、素地調整 (ISO St3 : 2種ケレン相当) を行う。処理後ただちに素地露出面に対し、工場施工の下塗り塗膜の復元を行う。ただし、既存塗膜にかからないよう塗装する。							
	二次素地調整	塗装面に付着している油分や汚れなどを溶剤などで拭き取り、P180程度の研磨紙などで塗面を面粗し、清掃する。							
	主材塗	耐火テクト (発泡性ポリエーテル樹脂耐火被覆材)	1	(特殊) AL	— 注)	1D	(7D)	— 注)	洗浄用のみ 耐火テクトシンナー
	中塗	耐火テクト 中塗 JIS K 5659 中塗	1	AL	170	8H	7D	30	テクト中塗シンナー 0~10%
	上塗	耐火テクト F 上塗 JIS K 5659 1級	1	AL	140	1D	7D	25	テクト上塗シンナー 10~20%

注) 耐火膜厚…耐火被覆材の膜厚は柱・梁の区分と鋼材サイズにより異なります。このため所要量も膜厚に応じて変動します。

【耐火テクト】維持管理指針

○維持管理

耐火塗装の施工が完了した時点で、建築物の所有者様、管理者様もしくは点検を委託された者が3年~5年に1回の周期で、定期的に塗膜の外観点検を行うことをお勧めいたします。補修が必要とされた場合には、専門知識を持つ技術者（耐火テクト認定工事会社）に相談頂き技術的アドバイスを考慮の上、補修塗装の要否を検討する必要があります。万一の火災に備えて、塗膜は耐火性能を維持している必要がありますので計画的な維持管理を実施することが重要になります。

○点検

- ・耐火塗膜の性能を維持するため、計画的な点検を実施する。
- ・日常点検により塗膜の異常が認められた場合は、耐火テクト認定工事会社に依頼し詳細な点検を実施してその結果に基づいて補修の要否を検討する。

各点検の概要は以下の通りです。

点検種類	点検対象	方法	点検時期	実施者	費用負担者
日常点検 注1)	外観	目視	日常的に点検 または6カ月毎に1回 定期点検	建物管理者	建物所有者
有償点検 注2)	外観	目視、指触	5年毎に1回(目安)	専門技術者	建物所有者
臨時有償点検	外観	目視、指触	・日常点検で異常が認められたとき ・浸水、地震、火災などの影響を受けたとき	専門技術者	建物所有者

注1) 日常点検は、建物の所有者や管理者もしくは点検を委託された者が耐火塗膜の状態を目視にて異常がないか確認する。

点検結果に異常があれば、臨時点検の実施を検討する。

注2) 有償点検は(財)日本塗料検査協会発行の「塗膜の評価基準」に基づき検査を行い報告書を提出する。
費用は5万円/日(交通費等 諸経費別)程度が目安。

○補修

耐火塗膜に対する補修が必要と判断された場合は、塗膜の劣化状態、耐火性能、防錆性能、上塗塗料の保護性能や意匠性又は塗膜が起因する周囲に及ぼす影響などを考慮して、専門知識を持つ耐火テクト認定工事会社に相談の上、提案する補修方法に準じて、速やかに補修を検討する。

防食塗料販売本部 耐火テクト管理部 TEL : 03-5711-8904

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本社 TEL(03)5711-8904 FAX(03)5711-8934
北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
関東 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223
東京 TEL(03)5711-8902 FAX(03)5711-8932
中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603
中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339



※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもありますのでご了承ください。

(19年3月)

ご用命は

省メンテナンス型 次世代耐火被覆材

耐火テクト®

発泡性ポリエーテル樹脂 耐火被覆材

特長

- ① 優れた耐久性 | 耐水性の大幅向上により良好な屋外適性
- ② 高仕上り性 | 美粧性が向上し、高いデザイン性が保てます
- ③ 工期短縮 | 速乾型・厚膜施工による工期の大幅短縮



耐火テクトによる問題解決

耐火被覆材は人命、財産を守る機能材です。

耐火テクトは現在、世の中に求められている耐火性能に+αを満たす耐火被覆材です。
様々なデザイン建築物が増えており耐火被覆に

1. 屋外耐久性

2. デザイン性



3. 工期短縮

といった機能が求められており、それらを解決できる安心な耐火被覆材です。

1. 屋外耐久性

- 高い耐水性により耐久性が増し、適用範囲が広がります。
- 微弾性タイプで鉄骨のタワミ・収縮に追従します。
- 省メンテナンスの実現

耐火テクトの耐水性 没水試験

	耐火テクト	従来品
膜厚	0.9 ~ 1.00mm	
塗装方法	引き塗り、1回塗装	スプレー、0.5mm×2回、塗装間隔24H
養生条件	23℃ 1週間	
没水	23℃ 24時間	
外観		

耐火テクト			
下塗塗料	JIS K 5551 エポキシ樹脂系塗料 60μm		
耐火塗料	耐火テクト 4.0mm		
上塗塗料	なし	JIS K 5659 ぷっ素樹脂塗料60μm	
鋼材状態	室内放置	弊社東京事業所屋外バクロ6ヵ月後	
バクロ後鋼材下			
膨張率	14.1倍	13.6倍	14.7倍
鋼材最高温度 500℃到達時間	67分	60分	65分

2. デザイン性

- 薄膜で耐火性能を発揮し、高い仕上がり感が得られます。
- 鉄骨自体のフォルムを活かす仕上げが可能になります。
- 空間設計に余裕が生まれます。

魅せる鉄骨のデザイン



3. 工期短縮

- 耐火認定膜厚(1H、2H)を1回で塗装可能
- 硬化反応型なので工期の大幅短縮(塗装間隔24時間：20℃×1H膜厚時)※2H膜厚は48時間
- 鉄骨製作FABでのプレ施工、現場施工が可能

● 2時間耐火 梁H400×200×8×13(100m以下程度)の場合

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	耐火厚
ロックウール	主剤塗り	乾燥・養生				パネル・シール									45mm
一般耐火塗料			主剤塗り					乾燥・養生						中塗 上塗	3.75mm
耐火テクト	主剤塗り	乾燥・養生		中塗	上塗										4.8mm

施工期間 約7日 (ロックウール)

施工期間 約2週間 (一般耐火塗料)

施工期間 約5日! (耐火テクト)

国土交通省認定試験合格サイズ

平成31年3月現在

	耐火時間	耐火膜厚 (mm)	認定番号	鋼材下限サイズ	鋼材上限サイズ
梁	1時間	1.75	FP060BM-0480	H 400×200×8×13	H 1200×500×25×40
		2.5	FP060BM-0488	H 200×100×5.5×8	H 450×200×19×25
		1.25	FP060BM-0523	H 440×300×11×18	H 1300×1300×50×50
	2時間	4.8	FP120BM-0505	H 400×200×8×13	H 1200×500×25×40
		3.5	FP120BM-0531	H 440×300×11×18	H 1200×500×25×40
		柱	1時間	2.0	FP060CN-0707
1.75	FP060CN-0767			H 350×350×12×19	H 1500×1500×40×50
3.0	FP060CN-0790			H 150×150×7×10	H 350×350×12×19
1.75	認定番号待ち			H 300×300×10×15	H 1500×1500×40×50
2.0	認定番号待ち			Φ 300×9	Φ 1528×60
2時間	5.0		FP120CN-0791	H 300×300×10×15	H 1300×1300×50×50
	5.3		FP120CN-0799	□ 300×300×9	□ 1200×1200×60
				Φ 382×9	Φ 1200×60